

陽翠の里だより

1月号

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年、当法人は大きく成長致しました。訪問事業進出として「訪問介護事業ビジットケアひすい」を2月からスタート、地域密着型事業では「小規模多機能型居宅介護 コミニケア緑が丘」を10月から、同月 能美市受託事業として「能美市辰口高齢者支援センター」という地域高齢者の総合相談窓口がスタートしました。介護老人保健施設陽翠の里ではリハビリテーションを強化し在宅生活が長く続けられるよう、ご本人の身心機能向上と維持を図り在宅サービスとの連携体制が構築されつつあります。

私共は辰口地区を中心として、地域の人々が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築して参ります。併せて、皆様のご要望に沿ったサービス内容の実現をこれからも目指して参りますので、何卒ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務長 越村和広



謹賀新年

あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします

自宅に行って参りま〜す♪

干支のお話

今年の干支は申ですがそもそも干支ってなに?! という方も多いのではないのでしょうか。

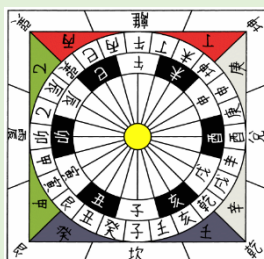
干支とは本来「十干十二支（じっかんじゅうにし）」の略で、「十干」と「十二支」の意味を合わせて干支と呼ぶそうです。

【十干】 甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸

【十二支】 子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥

十干十二支の組み合わせは60種類あり、60年で一周。それで60歳を「還暦」といいます。

今年は60年に一度の「丙申」にあたります。



今年は「丙申」どんな年になるかな？

「申」樹木の果実が熟して固まる、伸びるという意味

「丙」「火」を現す漢字で「横に燃え広がる」「明らかになる」という意味

この2つが合わさると「物事が大きく進歩発展し、成熟する年」になるそうです。



60年前、1956年（丙申）の日本は、戦前の水準を超えるまでに回復し「もはや戦後ではない」という言葉が流行し、「物事の形が明らかになり、固まっていく」……本当に、そんな年だったのかもかもしれません。なかなか意味深です。

「申年生まれ」の人の特徴は？ ポジティブで盛り上げ担当、1人でもいるとその場の雰囲気をも明るくしてくれる。頭の回転も速く、行動派の天才肌。あなたの周りに年男・年女はいますか？

さてさて、今年はどんな年になるのでしょうか？悩みや大きな問題が「去る」年になってくれるといいですね！

おせち料理



陽翠の里では 赤飯・黒豆・蒲鉾・伊達巻などのおせち料理が元旦に出されました。黒豆は豆に働く 紅白蒲鉾は「日の出」を象徴する物で元旦にはなくてはならない料理で紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表しています。伊達巻は伊達物（洒落物）から由来があるそうで昔は大事な文書や絵は巻物にしていたので、おせち料理には巻いた料理が多くあります。皆さん感謝をこめて食べておられました^^

鏡開きをしました



鏡開きをしました。喉につかえないように利用者様用には、豆腐入り白玉ぜんざいを召し上がって頂きました。みなさん喜ばれ、「おいしいわ〜おかわり〜」という声が聞こえました。